

令和4年度学校評価アンケートの考察

【生徒】

◇行事・生徒会活動

- ③「学校の行事（体育大会・文化祭など）は楽しく、積極的に参加している」98.1%（1.1%増）
・例年よい結果を収めている項目であり、Aの回答が4.5%増であった。コロナ禍においても、学校・学年で工夫を重ねた成果といえる。今後も、本校の強みとして、例年通りではなく、新しい試みを取り入れたい。
- ④「生徒会活動は活発で、積極的に参加している」83.5%（4.2%増）
・こちらも例年よい結果を収めている項目であり、昨年度の値を更新した。Cの回答が5.2%減ったことが大きい。校則の見直しや行事の企画・運営など、生徒会役員が主体的に取り組む姿を見せていることに加え、ICTを活用した連絡・アンケート調査と活動への迅速な反映によって、一人一人が生徒会活動に参加している実感が湧いたことも要因だと考えられる。今後もICTを活用しつつ、対面での交流を大切にして活動を進める。

◇授業

- ⑥「授業や行事などの中で、学校以外の人から学ぶ機会がある」82.1%（昨年度に比べ4.5%減）
・昨年度よりも減少した。学年行事において、外部講師招聘よりも校内での話し合いや調整、プレ活動に励んだためだと考えられる。また、現在の本校の研究が「全く新しい知見を学ぶ」ことよりも「自他を見つめる」ことを目指している点も一因と考えられる。視野を広げられるよう、外に学ぶ機会も大切にしたい。
- ⑬「道徳や教科の授業を通し、命の大切さを学ぶことができる」89.0%（7.9%増）
・道徳の教科化に伴い、今まで以上に注力した成果といえる。今後も教育活動全体を通して取り組みを進める。

◇日常生活

- ⑮「学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる」88.3%（6%増）
- ⑯「私たちの意見や悩みをよく聞いてくれる先生がいる」82.8%（2.1%減）
・⑯が昨年度より減少した一方、⑮が増加した。子どもが主体的に解決できるように、教師が裏方に徹したことが要因だと考える。今後も、子ども自身の問題解決能力を高めるとともに、不安や悩みを気軽に相談しやすい温かい雰囲気づくりに努める。
- ⑤「学校は進路についての情報をよく知らせてくれる」79.2%（6.2%減）
・平成26年度以降最高値であった昨年度から大きく減った。今年度、愛知県の高校入試の制度・日程が大きく変わったことが要因である。今年度の知見を生かした情報発信と進路指導によって改善を試みる。
- ⑦「学校はいろいろな施設や設備が整っている」66.8%（14.1%減）
・昨年度の平成26年度以降最高値から、最低値に転じた。大規模改修等による制約はなかったことから、日常において不満を感じる部分が増えたと考えられる。特に、調査・報告・連絡にChromebookが活用される機会が増えたため、関係の要望が増加したことが大きいと考える。要不要を見定め、環境の改善を進める。

【保護者】

◇教育方針・指導・環境

- ③「学校は生徒の将来に必要な知識や技能を身につける教育活動を行っている」95.7%（4.6%増）
- ⑥「学校は子どもの心を育てる教育をしている（いじめ、心の不安への対応がなされている）」93.6%（3.6%増）
- ⑨「学校の部活動は、子どもの健全育成のための機能をはたしている」62.3%（10.8%増）
・③⑥⑨は年々数値が向上し、今回最高値である。本校の教育方針と、実際の営みが認められていると考える。ただし、⑨については、以前よりも教員の介入度が高いため、同好会的活動に戻し、生徒の自主的な活動を促す必要がある。さらに、全国的に地域移行が進むため、本校においても、部活動の在り方を模索する。

◇保護者との連携

- ⑫「学校は保護者に必要な情報を適切に伝えている」94.3%（1.9%減）
- ⑬「保護者は子どものことで気軽に学校に相談できる」90.3%（6.4%増）
- ⑮「保護者の要望は学校によく聞き入れられ、反映されている」91.6%（3.1%増）
- ⑳「学校は各家庭に信頼感と安心感を十分に与えている」94.9%（変化なし）
・⑫が昨年度より減少したが、⑬⑮は本年度大きく上がった。各担任の日ごろの対応の成果といえる。悩みや要望を聴くだけでなく、情報の発信が求められている。本校webサイトを通じて、日々の様子を発信していきたい。今年度については、愛知県の高校入試制度の変化も一因（生徒質問⑤）だと考える。なお、⑳については、Aの回答が11.9%増えていることから、現在の対応を基盤として改善に取り組む。